地獄と暮らす伝説の街別府』 火山防災対策の課題 **のアプリの概要** 別府市は温泉の湧出量・源泉数が日本一の温泉観光 課題1:火山災害そのものを知らない市民も多くいる 運営方法:「PFS(ペイ・フォー・サクセス)」の利用 地として有名です。別府市に観光に行けば「地獄」とい 課題2:1500年間も噴火を経験しておらず、火山災害を無視した う表現をよく目にします。実は、本当にすぐ近くに地獄 都市構造となっているが、ハード的に整備することは難しい があるのです。それは別府市周辺に位置する活火山、 対象範囲:全国 →平時から少しずつ理解を深め、長期的に別府市の未来像 鶴見岳・伽藍岳です。別府市の火山防災マップを見る 運営方針 を考えていく必要がある と、12万人が暮らす別府市全体に大きな被害が出る と予想されています。 楽しいことを考えながら住民1人ひとりができる災害対策として 〇避難所が探せる旅行予約アプリ これまでに経験がないからどうしていいのか全くわからない ①普段の機能:宿泊+交通機関の予約 ただ不安になるだけ 「楽天トラベル」や「エクスペディア」のような宿泊と交通機関の予約 +このアプリを使うことで市場の10から20%オフ ②災害時の機能:避難場所の選択+輸送 消極的になりがちですが、もしもこの 地獄(活火山)と良い関係が築けたら 泊施設は避難所となることを前提としているため、予め避難所のお 別府市は最強の市になるはず! 気に入りリストを作っておき、災害時には好きな避難所を選択し、 Uber Eatsのような要領で輸送される

災害時に避難所として民間施設の借り上げや用地の確保に必要な費用を成果応酬に充てる

災害が発生すれば予約はキャンセルされることを条件に市場よりも安く販売

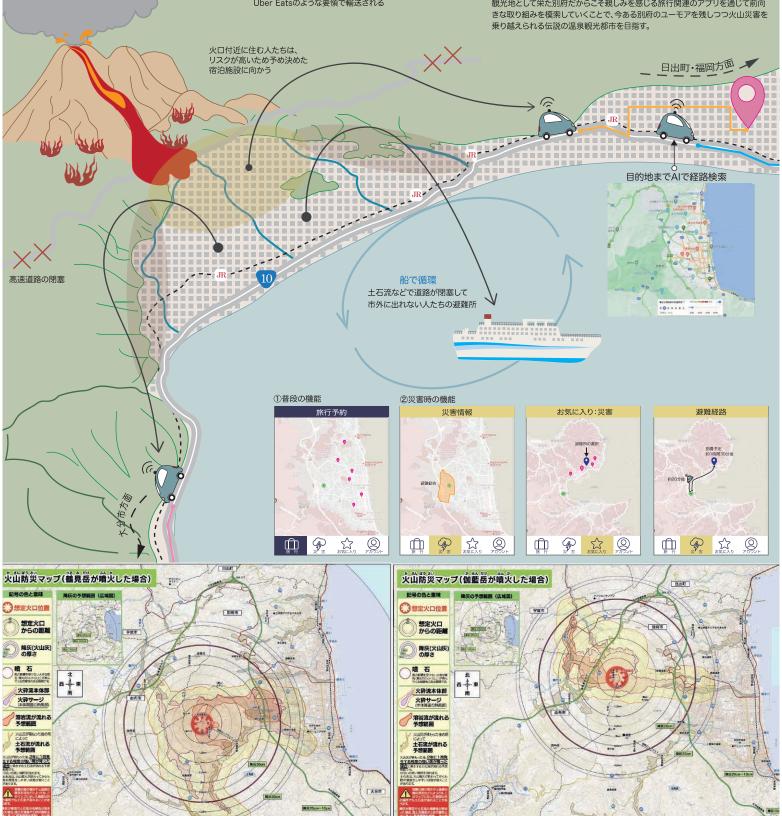
行政の負担をなるべく軽くし、より質の高い避難ができるように常にデータを収集する

の段階的に街を変え伝説にする

アプリが普及することで宿泊施設や公共交通などの連携が強化され、そこに移転 などを誘導する支援などを盛り込むことで少しずつ対策を図り、ハザードマップで 示される危険度の高いエリアから居住地域をできる限り離し、大規模な噴火によ る空間的な被害を最小限にする。噴火後は火山性の石鹸や土壌、火山性の土壌を 利用した作物、ジオパークなど新たな産業も見込める。

観光地として栄た別府だからこそ親しみを感じる旅行関連のアプリを通じて前向

(※別府市HPより引用)



(※別府市HPより引用) (※別府市 HPより引用)